

報道関係各位

2021年9月27日  
国立大学法人東京医科歯科大学

## 「東京医科歯科大学×READYFOR」クラウドファンディング —Voice Retrieverの開発で、自分の声を取り戻す体験を！

### 【クラウドファンディング背景・目指すこと】

国立大学法人東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野では、何らかの病気や事故などによって、口から食べること(=摂食)と飲み込むこと(=嚥下)がうまくできなくなってしまう摂食嚥下障害(せつしょくえんげしょうがい)に悩む患者さんが、もう一度「口から食べる楽しみ」を感じていただけるように、在宅や施設に訪問をして患者さんを診療しています。

摂食嚥下障害を持つ患者さんの中には、口から食べられないだけでなく、声が出せない方もおられます。口は話すときのように動かせるのに、声が出せない。それだけでコミュニケーションはかなり困難になってしまう患者さんが、もう一度話すことができなかと口腔内装置、「Voice Retriever」、および外部装置を発明しました。

「Voice Retriever」は、体内で音を鳴らして口を動かす発想からできた物で、マウスピースで上顎の後ろ側にスピーカーを仕込んで、外部の音源をそのスピーカーにつないで、口の中で音が鳴っている間に口を動かし音(声)が出るようになるという仕組みです。

実際に声帯から発話する能力を取り戻せるものではありませんが、自身の声で話す体験に近い発話・会話ができる機能を備えた器具を目指し、摂食嚥下障害の患者さんがもう一度話し、さらにもう一度歌えることを目指しています。この機会の改良が進めば他大学や企業とも協力し、医療のみならず音楽の中での利用も期待できます。

### プロジェクト概要

・プロジェクトタイトル：「Voice Retrieverの開発で、自分の声を取り戻す体験を！」

・ページ URL：<https://readyfor.jp/projects/voiceretriever>

・実行者：戸原玄/山田大志(摂食嚥下リハビリテーション学分野)

・目標金額：300万円

・形式：寄付金控除型／All of Nothing

\* All of Nothing形式は、期間内に集まった寄付総額が目標金額に達した場合にのみ、実行者が寄付金を受け取れる仕組みです。

・公開期間：9月27日(月)10時～11月25日(木)23時

・資金使途：Voice Retriever および外部装置の開発、改良、および量産化

・概要：喉頭がんによって喉頭を摘出したり、喉頭と気管を分離する手術を受けたり、気管切開によって気管に穴がかけられると、声を出すことができなくなります。そのような患者さんたちにもう一度簡単に、そしてより快適に話していただくための口腔内装置「Voice Retriever」および外部装置を開発中です。その開発費、改良費、そして量産できるための資金を募ります。

・実施背景 : 本研究開発を行うにあたり、現状では十分な資金を獲得することができておりません。また、クラウドファンディングを行うことによって、より多くの方に我々の発明を知っていただくことにつながると考えています。

READYFOR キーワードでさがす クラウドファンディングとは はじめる さがす ログイン・登録

寄付金控除型 #ものづくり #音楽 #テクノロジー #寄付金控除型 #障害者 #介護 #大学 #研究

### Voice Retrieverの開発で、自分の声を取り戻す体験を！

東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野 (戸原玄/山田大志)



新たな口腔内装置で声を取り戻す！

「Voice Retriever」の開発を進めたい！

寄付総額 0円 目標金額 3,000,000円

寄付者 残り 0人 59日

最初の寄付者になりませんか？

プロジェクトの寄付にすすむ

シェア ツイート LINEで送る noteで書く



#### 【報道に関する事】

東京医科歯科大学 総務部総務秘書課広報係  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45  
TEL:03-5803-5833 FAX:03-5803-0272  
E-mail:kouhou.adm@tmd.ac.jp